

第6章 パテントマップ作成ソフトを利用した マッピング事例

- 6-1 パテントマップ作成ソフトを利用したマッピング紹介
- 6-2 経口薬の苦みマスキング技術
- 6-3 浴槽排水関連技術
- 6-4 閲覧制限技術

第 6 章 パテントマップ作成ソフトを利用したマッピング事例

6-1 パテントマップ作成ソフトを利用したマッピング紹介

本章では、今回作成したマッピングソフトを利用したマッピング事例を紹介する。

事例で利用するテーマは、経口薬関連で薬を飲んだときの苦みをマスキングする技術、浴槽排水関連技術、ホームページの閲覧制限関連技術である。テーマ毎に、検索結果の特許出願件数推移グラフ表示、スコアリング処理、特許公報相互の引用・被引用関係マッピングを組み合わせて提示する。

6-2 経口薬の苦みマスキング技術

本節では、薬を飲む際の苦みマスキング技術のマッピングを行う。

ここでは、検索初心者の研究者を想定してテキスト検索から開始することとした。公報全文に「経口」が含まれる、公報全文に「苦み」「苦味」のいずれかあるいは双方が含まれる、公報全文に「マスキング」が含まれる、公報全文に「フレーバー」が含まれる特許公報、以上の要素を共通集合で検索すると 120 件が抽出された（図表 6-1）（図表 6-2）。

（図表 6-1）当初の検索

The screenshot shows the YUPASS patent search system interface in Internet Explorer. The search criteria are as follows:

検索対象	検索条件	件数
全文	AND 経口	1
全文	OR 苦み 苦味	1
全文	AND マスキング	1
全文	AND フレーバー	1

出願日: [] - []

検索ボタン: (検索)

リンク: [全文検索](#) [詳細検索](#) [引用文献検索](#)

山口大学特許電子図書館について | お問い合わせ |
© 2007 YAMAGUCHI UNIVERSITY. All rights reserved.

(図表 6-2) 当初の検索で抽出された 120 件の特許公報 注) 1 頁目のみ表示した

山口大学特許検索システム YUPASS Ver.4 alpha - Windows Internet Explorer

http://133.62.135.52/v4/search.php?action=multi&t=0&field_and_or6EN6D=1&field6EN6D=contents&column_and_or6EN6D=1&q6EN6D=KB7NDON6NFD&boost6EN6D=

山口大学特許検索システム YUPASS Ver.4 alpha

特許情報検索 | お知らせ | 収録データについて | ご利用方法 | よくあるご質問 | t-kimura

全文:(経口) AND 全文:(苦み OR 苦味) AND 全文:(マスキング) AND 全文:(フレーバー) 検索結果 120 件中 1 - 100 件目 (1.041 秒)

現在 1 / 2 ページを表示しています。

履歴保存

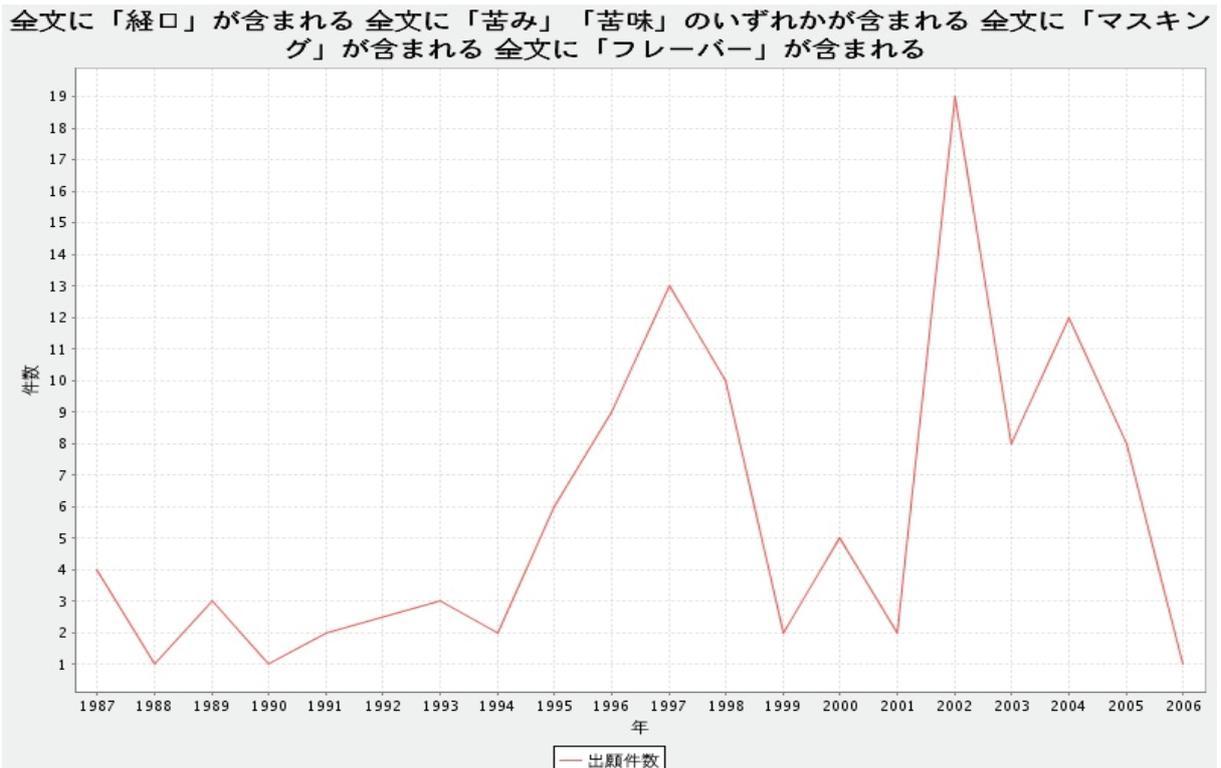
表示ページ: 1 ページ next

引用表示 出願時系列表示

文書番号	名称	出願人
特開1998-167988	経口液剤	武田薬品工業株式会社
要約	【57】【要約】【課題】苦味成分を含有する経口液剤の風味の改善。 【解決手段】苦味成分を含有する経口液剤にメープルフレーバー類を添加する。	
特開1993-017345	経口摂取可能な活性成分のための非アルコール性供給系	スペクトラム コンシューマー プロダクト カンパニー インコーポレイテッド
要約	【57】【要約】【目的】溶解として優れているが人体に有害であるアルコールを使用しないで、高濃度の活性成分を経口摂取供給系に含有させる。【構成】1種類以上の界面活性剤と、非水溶性の環状糖アルコールを含み添加物とを懸濁液または顆粒に含有させる。界面活性剤は添加物に対する水の表面張力を低下させ、添加物を懸濁液中に分散可能とする。	
特開2005-053861	固形状組成物	花王株式会社
要約	【課題】クロロゲン酸、クロロゲン酸環状体又はそれらの塩を高濃度に含有しても香味の良好な固形状組成物の提供。 【解決手段】次の成分(A)及び(B)、(A)クロロゲン酸、クロロゲン酸環状体又はそれらの塩 (B)炭酸塩又は重炭酸塩を含有し、成分(A)と成分(B)の含有比率(重量比)が、(A):(B)=1:0.5~1:2.2である固形状組成物。 【選択図】なし	
特開2005-052111	クロロゲン酸類含有組成物	花王株式会社
要約	【課題】クロロゲン酸、クロロゲン酸環状体又はそれらの塩を高濃度に含有しても香味の良好な固形状組成物の提供。 【解決手段】次の成分(A)及び(B)、(A)クロロゲン酸、クロロゲン酸環状体又はそれらの塩 (B)カルシウム化合物を含有し、成分(A)と成分(B)の含有比率(重量比)が、(A):(B)=1:0.5~1:2.2であるクロロゲン酸類含有組成物。 【選択図】なし	
特開2006-254791	カゼイン加水分解物含有組成物	森永乳業株式会社 他1名
要約	【課題】苦味等の不快味が高度にマスキングされたカゼイン加水分解物含有組成物を提供する。 【解決手段】カゼイン加水分解物、シュガーフレーバー、及びフレーブフルーツフレーバーを含有することを特徴とするカゼイン加水分解物含有組成物。 【選択図】なし	
特表2007-515950	タバコ組成物	ユーエス スモークレス タバコカンパニー
要約	本発明はタバコ組成物ならびにその使用および製造の方法を特徴とする。本発明の組成物はさまざまな技術に基づいて製造することができる。技術としては、フィルム、錠剤、成形部、ゲル、消費単位、不溶性マトリックス、および中空形状が挙げられる。タバコに加えて、組成物は、フレーバー、色、および本明細書に記載されるようなその他の添加物を含んでもよい。組成物は、経口的に服用可能であってもよい。例示的な組成物およびその製造の方法が本明細書に記載される。	

次に、この 120 件の経年別出願件数をマッピングする (図表 6-3)。

(図表 6-3) 当初検索で抽出された 120 件の経年別出願数推移



図表 6-3 を見ると、本テーマで検索した特許出願数推移には二つのピークがあり、各々 1997 年に 13 件、2002 年に 19 件となっている。そこで、1997 年を例に、出願された 13 件を調べると「三栄源エフ・エフ・アイ株式会社」が、スクラロースという甘味料、化学式 $C_{12}H_{19}Cl_3O_8$ に関する出願を集中的に出願していることがわかる（図表 6-4）。

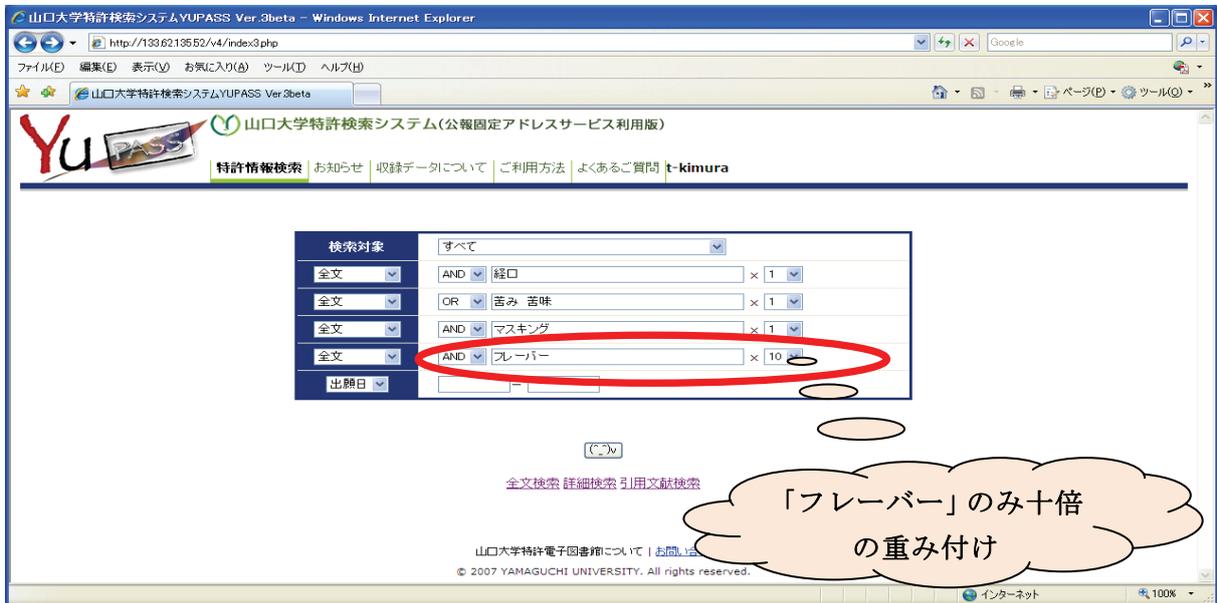
（図表 6-4）当初検索で抽出された 120 件で 1997 年の特許出願

文書番号	名称	出願人
特開1999-106354	薬物の苦味の隠蔽経口剤	エーザイ株式会社
要約	(57)【要約】【課題】苦味のある薬物の苦味隠蔽剤を提供する。 【解決手段】苦味のある薬物に無水クイ酸を配合して成る、苦味隠蔽剤である。	
特許3770515	薬物の苦味の隠蔽経口剤	エーザイ株式会社
特許請求の範囲	不快な味を有する薬物、および薬物1重量部に対して25〜70重量部の無水クイ酸を配合した液剤、ペースト剤、ゼリー剤、シロップ剤、エリキシル剤または乳剤である経口剤。不快な味を有する薬物に、薬物1重量部に対して25〜70重量部の無水クイ酸を配合し、液剤、ペースト剤、ゼリー剤、シロップ剤、エリキシル剤または乳剤とする薬物の不快味の隠蔽方法。	
特開1999-018723	高エネルギーゲル状栄養組成物	明治乳業株式会社
要約	(57)【要約】 【解決手段】1g当たり1.8〜2.5kcalに調製され、たん白質のエネルギー比率が10〜25%、脂質のエネルギー比率が20〜30%であり、且つ各ビタミンを下記の割合で含有すること、を特徴とする高エネルギーゲル状栄養組成物。ビタミンA150〜300IU/100kcal、ビタミンD15〜25IU/100kcal、ビタミンC10〜20mg/100kcal、ビタミンB10.1〜0.2mg/100kcal、ビタミンB20.1〜0.25mg/100kcal、ナイアシン1.0〜3.0mg/100kcal【効果】嚥下障害、そのリハビリ患者その他、嚥下能力が低下した人に特に好適な栄養組成物が提供される。	
特許3132652	高エネルギーゲル状栄養組成物	明治乳業株式会社
特許請求の範囲	(57)1g当たり1.8〜2.5kcalに調製され、たん白質のエネルギー比率が10〜25%、脂質のエネルギー比率が20〜30%であり且つ各ビタミンを下記の割合で含有してない、ゲル強度が $1 \times 10^4 \sim 1 \times 10^6 \text{dyn/cm}^2$ の範囲であり、水分を45〜70%含有し、その水の状態は水素核磁気共鳴法による水のスピニング緩和時間が10〜80msであること、を特徴とする嚥下障害者、そのリハビリ患者用の経口高エネルギーゲル状栄養組成物。ビタミンA150〜300IU/100kcal、ビタミンD15〜25IU/100kcal、ビタミンC10〜20mg/100kcal、ビタミンB10.1〜0.2mg/100kcal、……	
特開1998-262601	渋味のマスキング方法	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
要約	(57)【要約】【課題】製品本来の味のバランスを保持し、さらに長期安定性、熱安定性にすぐれた渋味のマスキング効果を十分に発揮し、マスキングされた後の渋味自体の風味を良質なものにすることを課題とする。 【解決手段】渋味を呈する製品に、スクラロースを添加する渋味のマスキング方法。	
特開1998-248501	渋味のマスキング方法	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
要約	(57)【要約】 【解決手段】渋味を呈する製品に、1又は2種以上の高甘味度甘味料を甘味の閾値以下の量で用いることを特徴とする渋味のマスキング方法【効果】渋味を呈する各種の最終製品における過剰な渋味を、特別な工程/処理を要することなく減少又は緩和することができる。	
特許3938968	渋味のマスキング方法	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
特許請求の範囲	茶、紅茶及びコーヒーから選択される 渋味を呈する 飲料に、スクラロースを、該飲料の0.001〜0.003重量% 用いることを特徴とする渋味のマスキング方法。	

特開1998-243776	酸味のマスキング方法	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
要約	(57)【要約】【目的】製品本来の味のバランスを保持し、さらに長期安定性、熱安定性にすぐれた酸味のマスキング効果を十分に発揮し、マスキングされた後の酸味自体の風味を良質なものにすることを目的とする。 【解決手段】酸味を呈する製品に、スクラロースを添加する酸味のマスキング方法。	
特許3929101	酸味のマスキング方法	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
特許請求の範囲	酸味を呈する製品に、スクラロースを、該製品の重量に対して0.012〜0.015重量% で用いることを特徴とする酸味のマスキング方法。	
特開1998-215793	酸味のマスキング方法	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
要約	(57)【要約】 【解決手段】酸味を呈する製品に、1又は2種以上の高甘味度甘味料を甘味の閾値以下の量で用いることを特徴とする酸味のマスキング方法が提供される。【効果】本発明によれば、酸味を呈する各種の最終製品における過剰な酸味を減少又は緩和することができる。さらに、酸による様々な効果を保持しながら、製品の味覚を改善することができる。したがって、本発明は、通常より少ない量の高甘味度甘味料を用いて、酸味の減少、緩和が可能な製品に適用可能なものである。	
特許3916281	酸味のマスキング方法	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
特許請求の範囲	酢酸酢及び、又はリンゴ酢を含有する製品、又はクエン酸を含有する製品に、スクラロースを、該製品の0.000075〜0.0042重量%の量で添加することを特徴とする酸味のマスキング方法。クエン酸を水溶液濃度で0.1〜0.3%含有する製品に、スクラロースを、0.000075〜0.003重量%の量で添加することを特徴とするクエン酸含有製品の酸味のマスキング方法。	
特開1998-203971	水性経口液剤	武田薬品工業株式会社
要約	(57)【要約】【課題】医薬成分および各種製剤添加物が配合された製剤であってもフェニルプロパノールアミンの安定性が損なわれることのない水性経口液剤 【解決手段】キシリトール、マルチトール、マンニトールおよびエリスリトールから選ばれた1種或は2種以上を配合した安定なフェニルプロパノールアミンまたはその塩含有水性経口液剤	
特開1998-167988	経口液剤	武田薬品工業株式会社
要約	(57)【要約】【課題】苦味成分を含有する経口液剤の風味の改善 【解決手段】苦味成分を含有する経口液剤にメープルフレーバー類を添加する。	

次にスコアリング処理によるマッピングを行う。公報全文に「経口」が含まれるものを一倍、公報全文に「苦み」「苦味」のいずれかあるいは双方が含まれるものを一倍、公報全文に「マスクング」が含まれるものを一倍、そして公報全文に「フレーバー」が含まれるものを十倍として重み付け検索を行った（図表 6-5）。

（図表 6-5） 検索語句で「フレーバー」のみを十倍の比重でスコアリング



スコアリングによるマッピング結果を図表 6-6 で表示する。ここで最上位に表示された公開特許公報平成 10-167988 号に絞り、次頁以降で引用関係マッピングを行うこととする。

（図表 6-6）「フレーバー」のみ十倍でスコアリングした結果 注) 1 頁目のみ表示した

文書番号	名称	出願人
特開1998-167988	経口液剤	武田薬品工業株式会社
要約	(57)【要約】【課題】苦味成分を含有する経口液剤の風味の改善 【解決手段】苦味成分を含有する経口液剤にメープルフレーバー一環を添加する。	
特開1993-017345	経口摂取可能な活性成分のための非アルコール性供給系	スペクトラム コンシューマー プロダクト カンパニー インコーポレイテッド
要約	(57)【要約】【目的】溶解して傷れているが人体に有害であるアルコールを使用しないで、高濃度の活性成分を経口摂取供給系に含有させる。【構成】1種類以上の界面活性剤と、非水溶性の噴霧乾燥フレーバー油を含む添加物を錠剤または顆粒に含有させる。界面活性剤は添加物に対する水の表面張力を低下させ、添加物を溶液中に分散可能とする。	
特開2005-053861	固形状組成物	花王株式会社
要約	【課題】クロロゲン酸、クロロゲン酸糖環体又はそれらの塩を高濃度に含有しても香味の良好な固形状組成物の提供。 【解決手段】次の成分(A)及び(B)、(A)クロロゲン酸、クロロゲン酸糖環体又はそれらの塩 (B)炭酸塩又は重碳酸塩を含有し、成分(A)と成分(B)の含有比率(重量比)が、(A):(B)=1:0.9~9:1である固形状組成物。 【選択図】なし	
特開2005-052111	クロロゲン酸類含有組成物	花王株式会社
要約	【課題】クロロゲン酸、クロロゲン酸糖環体又はそれらの塩を高濃度含有しても香味の良好な固形状組成物の提供。 【解決手段】次の成分(A)及び(B)、(A)クロロゲン酸、クロロゲン酸糖環体又はそれらの塩 (B)カルシウム化合物を含有し、成分(A)と成分(B)の含有比率(重量比)が、(A):(B)=1:0.9~1:22であるクロロゲン酸類含有組成物。 【選択図】なし	
特開2006-254791	カゼイン加水分解物含有組成物	森永乳業株式会社 他1名
要約	【課題】苦味等の不快味が高濃度にマスクングされたカゼイン加水分解物含有組成物を提供する。 【解決手段】カゼイン加水分解物、シュガーフレーバー、及びグレープフルーツフレーバーを含有することを特徴とするカゼイン加水分解物含有組成物。 【選択図】なし	
特表2007-515950	タバコ組成物	ユーエス スモークレス タバコカンパニー
要約	本発明はタバコ組成物ならびにその使用および製造の方法を特徴とする。本発明の組成物はさまざまな技術に基づいて、技術としては、フィルム、錠剤、成形部、グール、消煙単位、不溶性マトリックス、および中空形状が挙げられる。タバコに加えて、組成物は、フレーバー、色、および本明細書に記載されるようなその他の添加物を含んでもよい。組成物は、経口的に摂取可能であってもよい。例示的な組成物およびその製造の方法が本明細書に記載される。	
特表2006-504620	強い味の経口懸濁液および方法	プリストルマイヤーズ スクイブカンパニー 他1名
要約	水と混合したときに実質的に苦味のない強い味の経口懸濁液を形成する乾燥粉末状の製剤で、該乾燥粉末は溶液中苦味を有する薬物、好ましくはデューキノン、レールギニンのような好ましくはアルカリ性物質であるpH調節剤から形成され、水中で該乾燥粉末を混合するとき該薬物が溶解性が増加し、またはpH調節剤を添加して、本質的に苦味のない強い味の経口懸濁液を形成させる製剤が提供される。経口懸濁液、これのマスクング方法および1またはそれ以上のpH調節剤を用いた薬物の苦味をマスクングする方法も提供される。	
特開2003-171311	内服液剤組成物、それを含む内服液剤品	ライオン株式会社
要約	(57)【要約】【課題】高濃度の糖類を含有し、味の良い内服液剤組成物において、糖の析出を防止した内服液剤組成物、及び、該内服液剤組成物を含み、キャップ開閉部における固形物なしの内服液剤品の提供。 【解決手段】砂糖、果糖、キレート剤、粉末還元麦芽糖水アム、及び、エリスリトールから選ばれた少なくとも1種以上の糖類を10~85W/V%(g/100ml)と、グリセリンと、を含有することを特徴とする内服液剤組成物である。pHが、3~6.5である懸濁液が好ましい。また樹脂製キャップを有する容器内に、内服液剤組成物を含む内服液剤品であって、該内服液剤組成物、前記内服液剤組成物である内服液剤品である。	
特開1995-163295	チョコレート	不二製菓株式会社
要約	(57)【要約】【目的】ペプチドの苦味を殆ど感じることなく喫食することのできる、新規なペプチド入りチョコレートを提供することを目的とする。【構成】必須の成分としてペプチドとカカオニブの破砕粒状物を含有し、チョコレート。【効果】チョコレート生地中にカカオニブの破砕粒状物を含有させることにより適度な歯応えと好ましい嚼ばしさを付与させ、これによって従来の加水可溶性ペプチドは苦味のみで摂取するのが困難であった、栄養学的に価値の認められたペプチドを容易に摂取する、ペプチドを含むことになった。	

公開特許公報平成 10-167988 号で引用されている特許公報のマッピング（図表 6-7）。

（図表 6-7）公開特許公報平成 10-167988 号の引用関係

1998167988に関する引用文献グラフ3 (1.262 秒)

公開番号: 1998167988 検索

引用: 引用文献 被引用文献

元文献

出願番号	公開番号	被引用回数	名称	出願人
特願平09-265413	特開平10-167988	1	経口液剤	武田薬品工業株式会社

引用文献

公開番号	名称	引用回数	被引用回数
特開平01-242524	シロップ剤	5	4
特開平06-298668	経口用医薬組成物	3	7
特開昭63-023809	外用剤	3	0
特開平07-095867	飲用液組成物	3	11
特開平02-056416	苦味を抑えた顆粒剤	2	3
特開平04-300821	被覆製剤	2	6
特開平05-017350	ビタミンB ₆ 配合可溶性点眼剤組成物	2	2
特開平01-031711	麻酔剤含有チューインガム組成物	2	0
特開平04-164031	経口水性液剤	2	2
特開平02-059515	鎮痛活性及び抗炎症活性を有し、優れた嗜好性をもち、且つ粘膜に刺激作用のない経口投与用製薬組成物	2	3
特開平07-188058	味覚の改善された顆粒剤及びその製造方法	2	4
特開昭62-116507	医薬吸着物およびその製法	2	0
特開昭53-009359		2	0
特開平05-146253	ビタミンB群作用物質を含有する飲料	2	4
特開平09-110708	滋養強壮用生薬配合製剤	2	3
特開平02-096516	粒剤およびその製造方法	2	6
特開平06-072897	月経前の及び月経の不快感諸症状を軽減するための組成物	2	1
特開昭61-130205	アスコルビン酸を安定に配合した水系組成物	2	0
特開JPN4007008609		1	0
特開平09-328429	ビタミンB ₁ 誘導体配合液剤組成物	1	2
特開平07-227256	経口液剤	1	4
特開JPN4007008610		1	4

この結果を保存するには右のダウンロードボタンを押してください。 [ダウンロード](#)

[全文検索](#) [詳細検索](#) [詳細検索\(重みづけ\)](#)

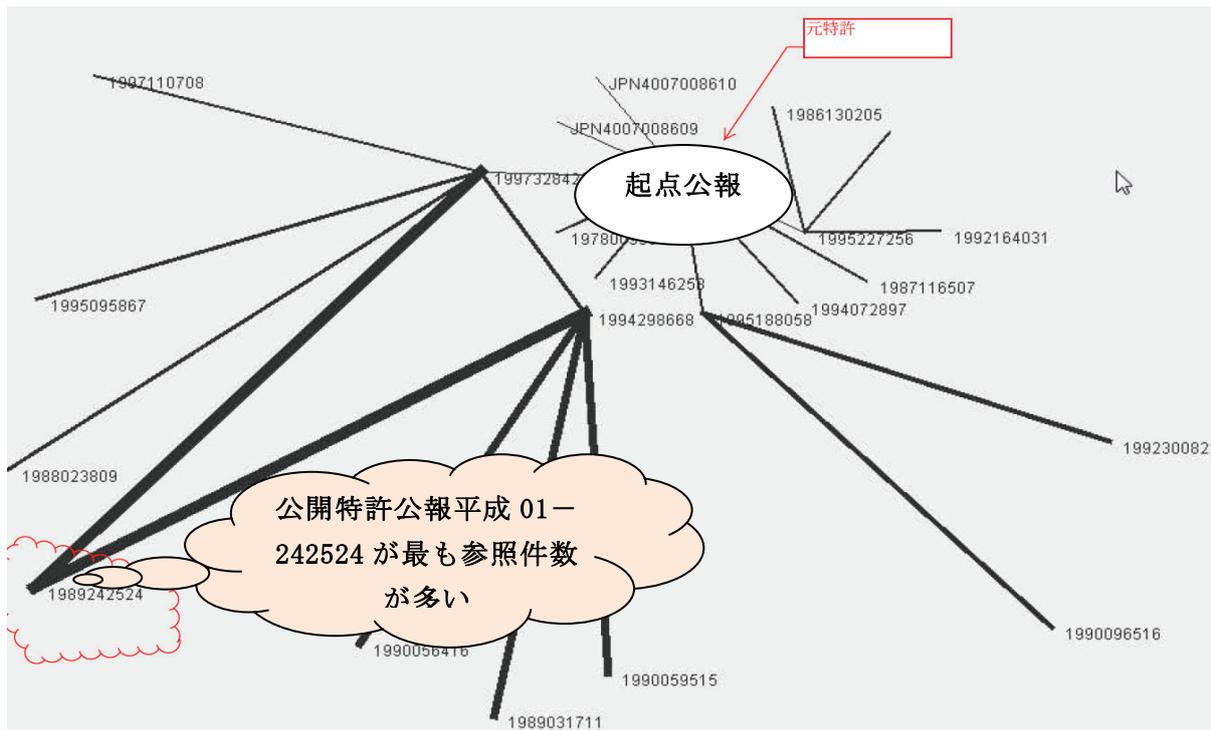
山口大学特許電子図書館について | お問い合わせ |

© 2007 YAMAGUCHI UNIVERSITY. All rights reserved.

上記のマッピングを参考に、リスト中で被引用回数が多い特許公報の被引用関係を更に調査すると効率的な研究が可能である。

次頁に、これらの引用関係を特許群で検討する（図表 6-8）。

(図表 6-8) 公開特許公報平成 10-167988 号の引用関係特許群



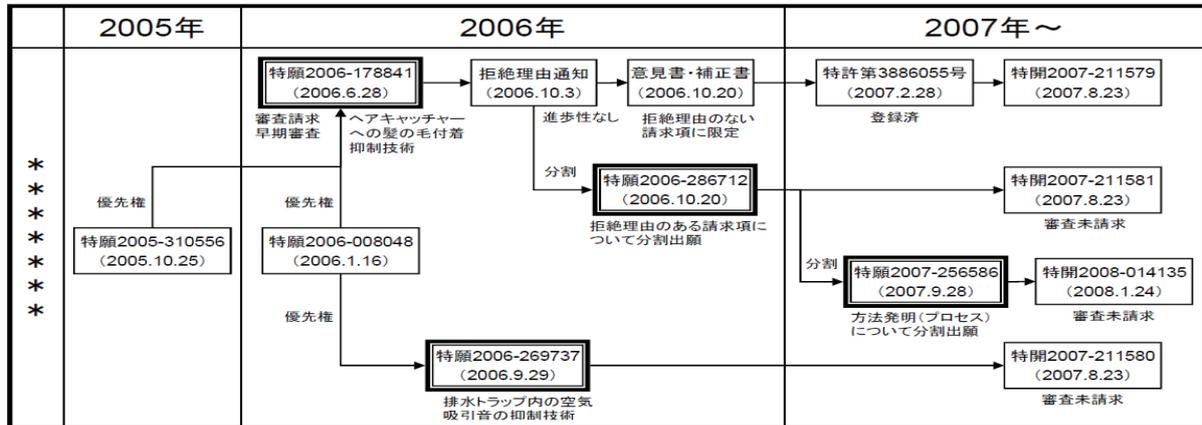
最も参照件数（被引用件数）が多い公報は、公開特許公報平成 01-242524 で発明の名称は「シロップ剤」である。出願日は 1988 年 3 月 22 日、この時点でシメチジン等の経口投与時に苦味をマスキングする技術としてグリチルリチン酸またはその塩と甘味料を適切な比率で加えるシロップ剤を調整する技術が開示されていることになる。

6-3 浴槽排水関連技術

本節では、前節と同様の手法を利用して、浴槽配水関連技術マッピングを行う。

引用・被引用関係の起点となる公報は、あらかじめテキスト検索で絞り込んだ公開特許公報 2007-211579 号を利用する。この出願の一部は特許第 3886055 号として登録されている。

(図表 6-9) 公開特許公報 2007-211579 号の出願経緯



本出願では、特許第 3886055 号として登録された後に公開特許公報 2007-211579 号が発行されているため、別途、山口大学の学生が手作業で作成した公開特許公報 2007-211579 号の出願経緯図を参考資料として示した (図表 6-9)。

次に、図表 6-10-1 から図表 6-10-5 で本公開公報の引用関係マッピングを表示する。

(図表 6-10-1) 公開特許公報 2007-211579 号の引用関係

出願番号	公開番号	被引用回数	名称	出願人
特願2006-178841	特開2007-211579	0	排水トラップ及びこの排水トラップを備えた浴室	株式会社INAX

公開番号	名称	引用回数	被引用回数
実開平05-022669	ユニットバスの洗場用トラップ	10	0
特開平03-260230	ユニットバスの排水装置	9	9
特開平05-009965	排水トラップ	9	8
特開2001-234569	防水バンの排水構造	8	5
特開2003-253722	浴室ユニットの排水構造	6	4
特開平09-004006	浴室ユニットの床パン	6	3
実公昭55-050189		6	3
実公昭57-046680		6	3
特開平11-043975	浴室ユニットの浴槽排水構造	4	2
特公昭48-036364		4	2
実公昭60-003172		4	2
実公平02-040123	洗い場付浴槽	4	2

(図表 6-10-2) 公開特許公報 2007-211579 号の引用関係 続き

特許番号	引用関係	引用数	被引用数
特開2000-001888	浴室ユニットの排水構造	4	2
特開平09-195348	浴室	4	4
特開2005-060942	排水トラップ	4	3
特開平10-176355	浴室ユニットの床パン	4	2
実公昭59-102669		4	2
特開2004-036144	排水トラップ	4	2
実公昭48-042746		4	2
実開平05-040377	排水トラップ機構付きの防水パン	3	2
実開平06-087478	浴室ユニットにおける排水装置	3	2
特開平08-296264	防水パン構造	3	2
実公昭56-025774		3	2
実公昭03-013373	排水トラップ	3	2
実公昭63-151572	排水装置	3	2
特開2001-098603	排水トラップ	3	3
特開平09-088143	床パン	3	5
実公昭01-105583	浴室	3	5
実公昭49-005261		3	5
特開2004-225243	接続構造	2	1
特開平02-058644	浴室装置	2	2
特開2005-180077	浴室用封水筒型排水トラップ装置	2	1
実公昭62-031177	壁型排水トラップ	2	1
特開2000-179021	床防水パンおよびこの床防水パンへの浴槽の設置構造	2	1
実公昭49-007331		2	1
特開2004-278013	浴室の配管構造及びそれに用いられる排水トラップ	2	1
実開平06-035368	浴室の防水床パン	2	1
特開平11-181854	排水トラップ	2	3
実公昭63-031181	排水管悪臭防止具	2	3
特開平11-043976	排水トラップ	2	1
実公昭59-056277		2	1
実公平06-033020	浴室ユニットの浴槽排水構造	2	1

(図表 6-10-3) 公開特許公報 2007-211579 号の引用関係 続き

特許番号	引用関係	引用数	被引用数
特開平09-025655	排水接続装置およびその方法	2	2
実公平 04-070371	防水床パン	2	2
実開平05-022663	配管用ジョイント	2	2
特開2004-278090	浴室の排水トラップ	2	1
特開平07-180197	オーバーフロー排水複合金具	2	1
実公昭61-036612		2	1
実公昭57-058377		2	1
特開平07-026608	浴室の排水構造	2	6
実公昭49-115946		2	6
特開平08-239883	封水装置	2	2
特開平08-049273	排水口用簡易フィルター	2	3
実公昭61-015104		2	3
特開2004-068328	浴室の排水ユニット	2	1
実公平 04-054389	管継手用防蝕コア	2	1
WO95020077		2	1
実公昭57-133391		2	1
特開平07-216949	排水部の構造	2	1
実開平05-073068	排水トラップ	2	1
特許2995530	排水トラップおよび排水トラップを備える床排水構造	2	1
特開平09-209430	濾過シート	2	2
特開平08-270034	ユニットバスの排水構造	2	2
特開2005-009250	排水トラップ	2	1
特開2001-140318	排水トラップ	2	1
特開平10-008522	排水トラップ	2	3
実公2587039		2	3
実公昭57-128664		2	3
特開2000-319965	浴室ユニットの排水構造	2	1
特公昭53-023538		2	1
実公昭50-045830		2	1
特開2000-291097	浴室ユニットの排水構造	2	2

(図表 6-10-4) 公開特許公報 2007-211579 号の引用関係 続き

特許番号	特許名称	引用数	被引用数
実公平 04-007259	排水トラップ	2	2
特開2002-054205	浴室	2	1
実開平 04-108661	浴室ユニットにおける排水構造	2	1
特開2003-313914	排水トラップ	2	1
実全昭54-069653		2	1
実全昭63-161964	床パン排水構造	2	1
実全昭52-088261		2	1
実全昭59-031670		2	1
実開平 04-134580	設備ユニットの排水構造	2	1
実全昭48-031545		2	1
特開2005-314997	排水トラップ	2	1
特開2004-044318	排水装置	2	2
実全昭60-027190		2	2
特開2001-107412	ユニットバスの排水装置	2	1
特開2001-149256	洗い場付浴槽の構造	2	1
特開2001-152508	排水トラップ	2	1
特開平10-176357	浴室ユニットの床パン	2	1
特開2005-146795	浴室ユニットの排水装置	2	1
特開平06-306907	排水トラップの製造方法	2	2
特開2003-336302	排水装置	2	2
特開2002-115298	ユニットバスの排水トラップ	2	1
特開平05-148878	床排水トラップ	2	1
特開2005-009161	排水トラップ	2	1
特開昭62-215737	臭気トラップ	2	0
特開2005-009160	排水トラップ	2	1
実全昭63-157385	防水パン	1	1
実公平06-008783	防水パン	1	1
実全平01-042369	洗たく排水誘導路を有する排水管用防臭装置	1	1
実全昭50-015410		1	1
実全平 04-051239	空調ダクトの接続部構造	1	1

(図表 6-10-5) 公開特許公報 2007-211579 号の引用関係 続き

特許番号	特許名称	引用数	被引用数
特開平07-279210	排水トラップ	1	1
実全昭50-151562		1	1
実全昭61-152074	ユニットバスルーム用防水パン	1	1
特開2000-303528	浴槽排水装置	1	1
特開平01-121421	床パン	1	5
実全昭54-011433		1	5
実公平07-026458	ユニットバスルーム	1	5
特開昭59-166791	ホース接手	1	0
実全平01-150668	浴槽の排水口取合構造	1	0
実全平03-119071	浴槽の排水装置	1	0
実全昭63-050964	浴槽の低位設置可能な浴室パン	1	0
実全平 04-066491	ホース接続具	1	0
特開2003-056036	低床浴室用の排水トラップ及び浴室ユニット	1	1
実開平06-057972	防水パン	1	1
実公2527337		1	1
特開平09-268626	排水トラップ	1	1
実全昭63-065776	排水トラップ	1	1
特開平07-279208	排水トラップ	1	1
実全昭51-034621		1	1
特開2000-080695	排水トラップ	1	1
実全平 04-041572	流しの排水トラップと排水ホースの接続構造	1	1

この結果を保存するには右のダウンロードボタンを押してください。 [ダウンロード](#)

[全文検索](#) [詳細検索](#) [詳細検索\(重みづけ\)](#)

山口大学特許電子図書館について | [お問い合わせ](#) |
 © 2007 YAMAGUCHI UNIVERSITY. All rights reserved.

前頁までの公開特許公報 2007-211579 号引用関係マッピングで、最も被引用数が多い公開特許公報平成 03-260230 号について過去方向に引用関係を調べると引用文献は存在しなかった。従って、本出願が重要特許・基本特許である可能性が高いと思われる。

(図表 6-11) 公開特許公報平成 03-260230 号の引用関係

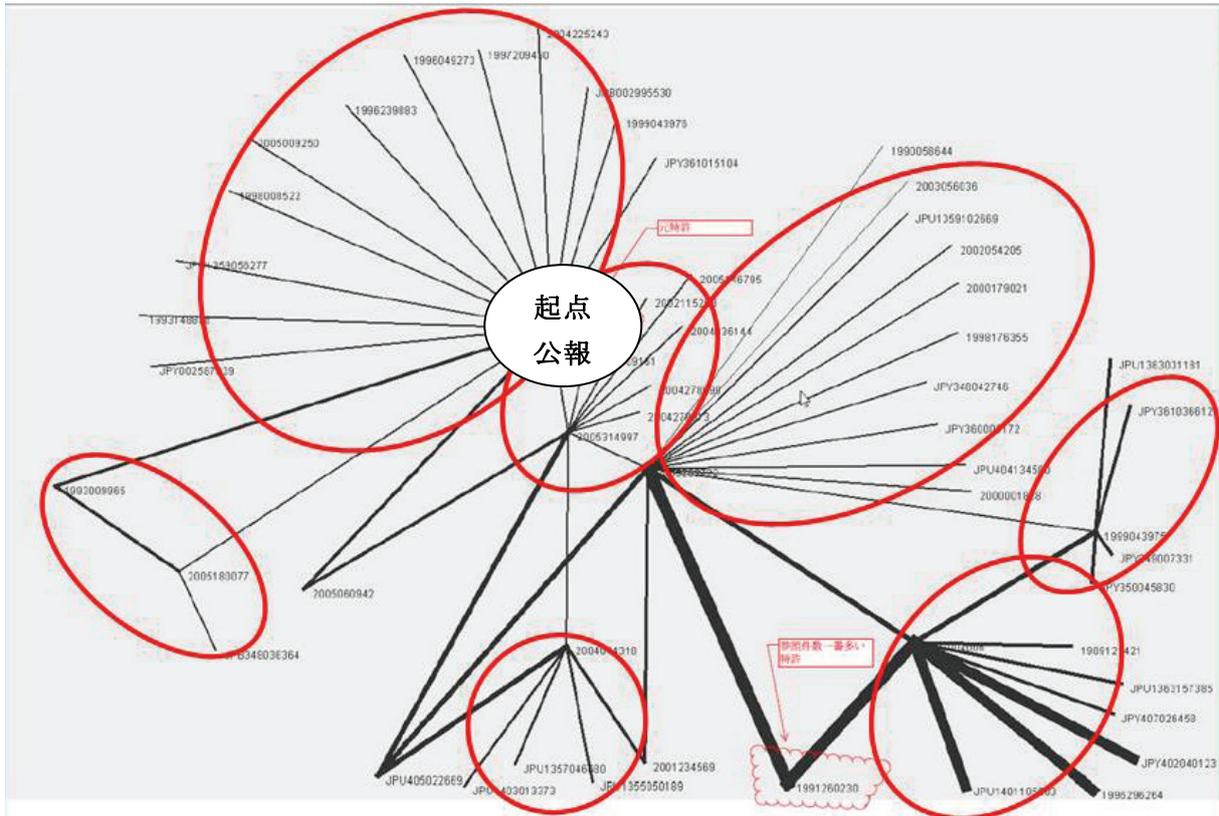


(図表 6-12) 公開特許公報平成 03-260230 号の被引用関係



念のために、同公開特許公報の被引用関係マッピングを図表 6-12 に示した。

(図表 6-13) 公開特許公報 2007-211579 号の引用関係特許群



前節の苦味マスキングの特許群表示と同じく、一定のグルーピング化が成立していることがわかる。

